

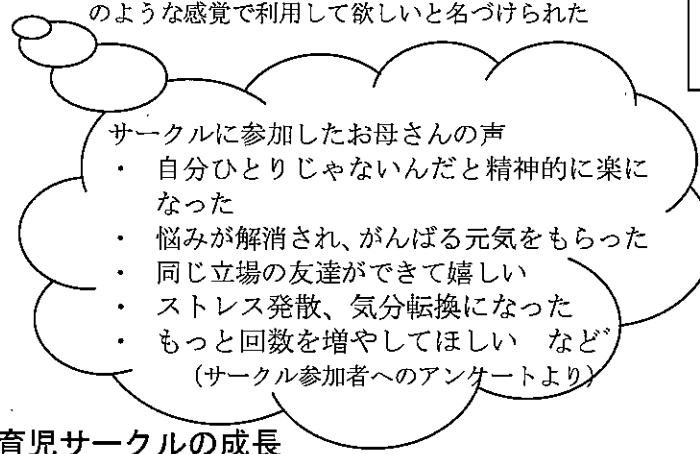
事例4 お母さんを支える「母乳育児サークル」を通して退院後も支援

妊娠中や入院中のケアの充実から退院後の支援へ～母乳育児サークルの結成～

院内での支援を推進する一方で、退院後の母子を取り巻く地域の支援は手薄で、溢れるほどの情報にさらされ、迷い悩みながら育児を進めている母子の現状を目の当たりにして、サークル立ち上げの活動を開始。

院内で検討し、場所、時間、周知方法、スタッフ、必要物品、参加費（無料）など最低限のことを決め、問題点があればその都度考えていこうということで、平成14年10月に母乳育児サークル「おっぱい広場」をスタート。

*おっぱい広場；誰もが自由に集まれる広場のような感覚で利用して欲しいと名づけられた



育児サークルの成長

当初病院スタッフが発行していた「おっぱい広場便り」もお母さんたちの手で発行（通信費等として100円の参加費も徴収）。おっぱい広場を卒業したお母さんたちが自動的に「カンガルークラス」を結成・運営し、「おっぱい広場」の母親たちへも助言。このカンガルークラスのお母さんたちが中心になって全サークルの集いとして「青空交流会」を企画。

現在では、偶数月に「ふたごの集い」が開催、さらにNICUを退院した母子を対象にした「がんばりっこ仲間」も開催。

（サークルの内容）

- 自己紹介
- 近況報告
- 参加児の体重測定
- 季節の行事
- 院内講師による学習会
- ボランティア参加（ベテラン保育士が母子のふれあいを重視した遊びや歌などを教えてくれる）
- お誕生日会
- 卒乳証書の授与 など

卒乳したお子さんには母子健康手帳
サイズの可愛い証書が手渡される。

卒乳証書	
平成 年 月 日	gで
生まれた	ちゃんは、
お母さんからいっぱいの愛情と安心を	
もらい、身体も心も大満足して	
平成 年 月 日	才 ケ月で
大好きなおっぱいを卒業することができました。	
これから日々の健やかな成長をお祈りしてここに卒乳証書をおくります。	
平成 年 月 日	
熊本市民病院母乳育児サークル「おっぱい広場」	

平成14年10月	「おっぱい広場」（毎月）1ヶ月後～1歳までの母子を対象
平成15年4月	母親の手によるサークル通信「おっぱい広場便り」発行
平成15年5月	第1回青空交流会（春・秋の2回）ふたごの母子を対象
平成15年9月	「カンガルークラス」（毎月）おっぱい広場を卒業した母子を対象
平成16年10月	「全サークルのつどい（第4回青空交流会）」（秋）母親による企画運営
平成17年2月	「ふたごのつどい」（偶数月）
平成17年3月	「がんばりっこ仲間」（不定期）NICUを卒業した母子を対象

（事例提供：熊本市立熊本市民病院）

事例5 保健センターを中心とした支援の推進—健やかな親子関係の確立支援を目指して—

母親の育児不安の解消と子どもの健やかな成長のために、妊娠期から一貫した母子支援事業を展開している。特に、妊娠期及び乳幼児を持つ母親がリラックスして育児ができるよう、精神的・身体的支援の充実を図り、母親の育児環境を整えるとともに、家族・地域に対しても、母乳育児の重要性を伝え、地域ぐるみで応援する環境づくりの整備を図っている。

〈母乳育児支援の推進例〉

市の概況：人口 66,064 人、年間出生数 662 人、出生率 10.0(出生数千対)

平成9年：妊婦教室に母乳育児の講話と助産師による乳房ケアを導入。

妊婦の食事調査を実施。両親学級を開講し、父親の育児参加を支援。助産師の講話と実技を導入。赤ちゃん学級を開講し、小児科医の講話等により育児不安の軽減に向けた支援。

○平成12年：「おっぱい育児支援事業」として総合的な取組を開始。

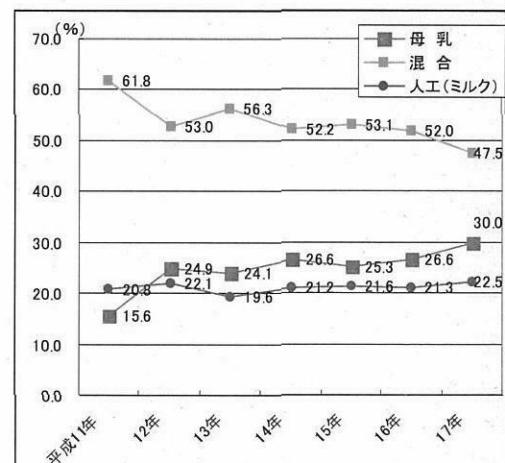
(教室) おっぱい育児教室を開講し、個別の乳房ケアと育児指導を実施。
赤ちゃん学級を、個別支援と仲間作りの場とする。

(親の会) 1歳までの育児サロンを月1回開設し
育児不安を支援。1歳以上の親子サロンを
月1回開設し親の会の育成を支援。

(基盤整備) 情報提供の推進(母子手帳交付時にパンフレット配布等)。産婦人科医との連絡会議を開催(年1回)。小児科医との連絡会議を開催(年1回)。芳賀赤十字病院「おっぱい外来」との連携推進。三つ子の魂育成推進室を設置し、地域全体で支える体制を整備。

○平成15年：子育て相談(月1回)で母乳育児相談を開始。離乳食教室を開講し、食生活や子育て全体を支援。生後2ヶ月までの乳児に電話児相談を実施。

○平成17年：妊娠届出時に全妊婦と面接。アンケート調査によりハイリスク妊婦の早期発見と早期支援に取り組む。各教室のスタッフの充実を図り、母親の精神的・身体的支援をきめ細かに実施する体制を整備。



4か月健診における栄養方法の年次推移(平成11年～17年)

母乳育児の推進—健やかな親子関係の確立支援—

(平成9年 真岡市の母子保健計画) より)

(事例提供：真岡市)